

新松田駅北口周辺整備通信

問 駅周辺事業推進担当室 駅周辺事業推進係 ☎(84) 1332

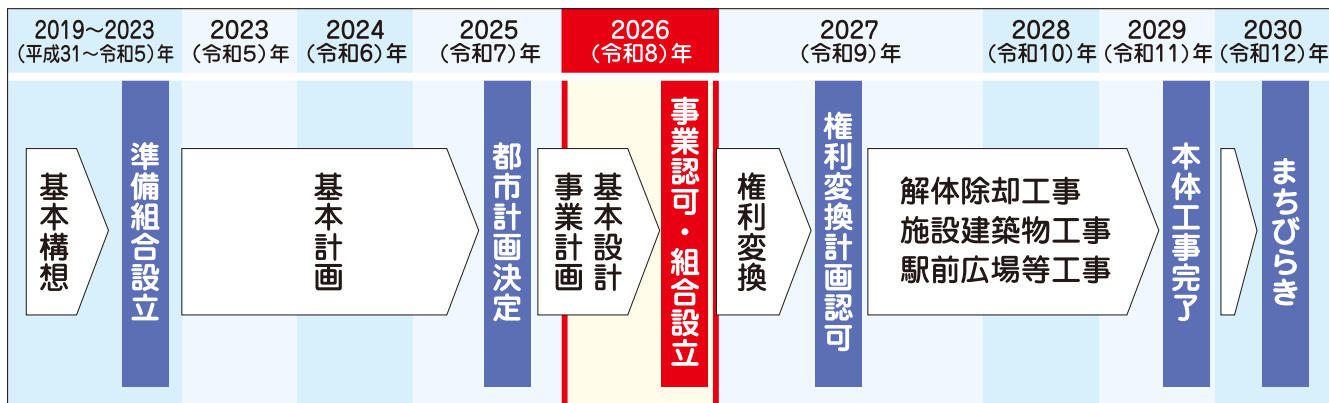


町公式サイト
はこちら

町では、昨年12月に新松田駅北口地区第一種市街地再開発事業に関する都市計画決定を行いました。今後、新松田駅北口地区市街地再開発準備組合による令和8年度中の再開発組合（本組合）の設立申請に向け、事業計画の作成や地権者様との合意形成などに関し、当準備組合に対する支援について取り組みます。

再開発組合の設立に向けて

再開発組合（本組合）の設立に向け、新松田駅北口地区市街地再開発準備組合により主に次の事項について取り組むことが予定されています。



《新松田駅北口地区市街地再開発準備組合》

●令和8年度における主な取り組み

- 土地評価、補償調査の実施
- 事業の資金計画の検討、作成
- 建物および駅前広場などの基本設計の検討、作成
- 本組合設立に向けた地権者様との権利に関する協議など合意形成活動
- 組合設立申請書の作成、県への申請手続き

町による
助言・援助など
(都市再開発法
第129条)



松だるま

松田町長 本山 博幸

根っこ(信念)が大切 その1

午年も1カ月が過ぎ、寄口ウバイまつりが始まり、多くの観光客に甘い香りを楽しんでいた。今日この頃、町民の皆さまはお健やかにお過ごしのことと存じます。毎回、松だるまを作成する時期は、発行前月の10日までに作成していますので、今回は1月10日に作成しています。今朝は消防車が出動する音が聞こえました。就任後は、常に消防車の「カンカンカン」という音が鳴らないことを願っています。

さて、毎年この時期は、新年度の予算編成を行っており、4月から1年間の「未来に対する事業」を創造し、町が確保できる予算の範囲内にて、福祉や子育てなど、必ずかかる義務的経費を差し引いた残りの予算内にて「町民が望む事業と未来への投資事業」をバランスよく組み立てていますが、毎年補助金や寄附金の確保など知恵と行動が必要になります。そこで、毎回の予算編成時のブレない思想として「米百俵の精神」こそが私が目指すまちづくりの根っこ(信念)となっています。

「米百俵の精神」について概略を申し上げますと、幕末の長岡藩(現新潟県長岡市)において、「興学私議」という教育論を著していた、小林虎三郎さんのまちづくりに対する思想です。戊辰戦争に敗れ焼け野原となった長岡藩の窮状を知った支藩の三根山藩(現新潟市西蒲区峰岡)から米百俵が見舞いとして贈られ、食べるものにも事欠く、長岡藩士たちにとっては、のどから手が出るようなお米であったため「早く、米を分ける」といきり立つ藩士たちに対して、小林虎三郎さんが取った対応とは？(続きは3月号にて)